



【防災マップ入手先】

- ・町総務課危機管理室（冊子をお渡しします）
- ・町ホームページ（データで確認できます）

# 高畠町防災マップを更新しました！

問合せ先／町総務課危機管理室 ☎(52) 3 7 4 4

平成27年度に発行した防災マップの内容をリニューアルし、令和3年広報4月号とあわせて全戸配布しました。

近年、各地で風水害や地震による災害が頻発しています。そのような中で、災害から命を守るためには、普段どのような心構えや備えが必要なのか、災害が発生したときに、私たちの住む地域にどのような危険が生じるのかを知ることが非常に大切です。

日頃から家族間や地域内で、本マップを活用しながら、災害時の備えや取るべき行動を考え、いざというときに慌てることのないよう、十分に対策を立てておきましょう。

## 1 住んでいる地域の危険度がわかりやすくなりました

土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域・浸水深、ため池ハザード情報など、危険が想定される箇所を記しています。特に道路冠水や住宅浸水の恐れがある箇所は、「災害注意エリア」として表示しています。

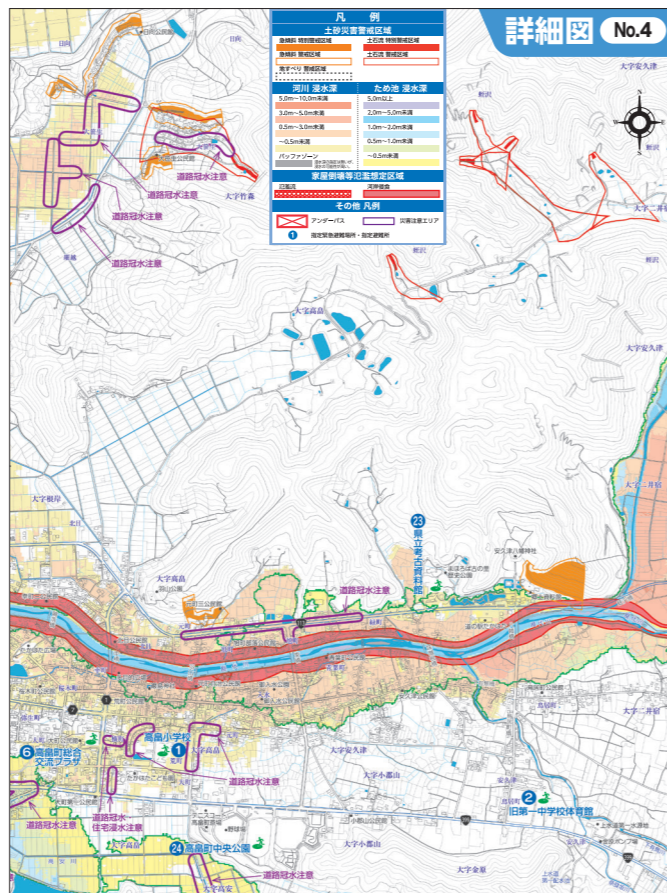
洪水浸水想定区域は、水防法の規定に基づき、想定しうる最大規模で設定しています。

指定の前提となる降雨	
最上川	2 日間で 295mm
天王川、砂川	2 日間で 295mm
屋代川	24 時間で 376mm

さらに、「家屋倒壊等氾濫想定区域（洪水時に河岸侵食や氾濫により家屋倒壊等の恐れがある区域）」の表示を新たに反映しています。

水害や土砂災害が発生するおそれのある時は、町より避難指示が発令されますので、速やかに避難してください。また、避難指示が出ていなくても、身の危険を感じたら自主的に早めの避難を心がけましょう。

洪水浸水想定区域図は、支川の決壊によるはん濫、前提となる降雨を超える規模の降雨によるはん濫、内水によるはん濫等を考慮していません。防災マップで浸水想定範囲外であっても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますのでご注意ください。



## 2 防災マップを活用し、災害に備えましょう

防災マップはあくまでも想定図です。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。想定と異なる状況になっても、防災マップを活用して、事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。

### 防災マップの使い方

#### 1 家の位置を確認しよう

あなたの家の場所を地図に書き込み、家の周りの災害の危険性を確認しましょう。  
あなたの家は、浸水や土砂災害の危険性がありますか？

#### 2 避難場所を確認しよう

最寄りの避難場所に印をつけ、道のりを確認しましょう。最寄りの避難場所までの道が通れない可能性を考え、複数の避難場所を確認しましょう。

#### 3 危険箇所を通らない避難経路を考えよう

浸水や土砂災害の危険性があるような箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

※災害によって最適な避難場所が異なります。P 11の「避難所一覧のリスト」を確認しましょう。

※状況によって、在宅避難や親戚や知人の家への避難が望ましい場合があります。P 6の「在宅避難を行うときの心得」を確認しましょう。

#### 4 実際に避難場所まで歩いてみよう

地図で選択した避難経路が安全かどうか、また、避難にかかる時間を確認しましょう。

#### 5 よく行く場所の危険性も確認しよう

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などの最寄りの避難場所や災害の危険性を確認しましょう。

## 3 いざという時に備え、家族で話し合っておきましょう

### 家族全員で防災会議を行い、いざという時の対策を話し合ってみましょう

家族ひとりひとりの動きや役割を明確にしておくことスムーズに行動できます。

＜家族で確認すべき内容の例＞

- 確認した避難場所・避難経路の情報共有
- 家の中、家の周囲の危険箇所（P 3）
- 非常時持出品、非常時用備蓄品の整備状況（P 4）
- 大雨・洪水時の避難行動（P 7- 8）
- 土砂災害発生時の避難行動（P 9）
- 地震発生時の行動（P 10）
- 火災発生時の行動（P 33）
- 離れ離れになったときの安否確認方法（P 34）
- ※（ ）内は防災マップの参考ページ

### 我が家の防災マップとして保管しましょう

「防災メモ」に家族の情報や話し合った内容を書き込み、ヒモを通して、家族全員がわかる場所に吊るし、いつでも内容を確認できるようにしましょう。

### わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時の連絡先などを「メモ」しておくページです。家族みんなで話し合い、記入してください。

集合場所	避難所・避難場所	連絡方法
役場駐車場	町営体育館	災害用伝言ダイヤル 171 に録音

家族の連絡先及び救急情報						
氏名	続柄	電話番号(自宅携帯)	電話番号(会社/学校)	生年月日	血液型	救急情報(特異アレルギー・常備薬)
高畠 太郎	本人	090-XXXX-XXXX	52-XXXX	S38.1.1	A型	△△△病
高畠 花子	妻	090-XXXX-XXXX	24-XXXX	S53.12.31	O型	
高畠 次郎	長男	080-XXXX-XXXX	023-XXX-XXXX	H5.4.1	O型	
高畠 まち子	母			S12.12.12	AB型	〇〇錠、××錠

親族・知人の連絡先			かかりつけ医療機関	
氏名	続柄	電話番号	医療機関名	電話番号
和田 三夫	叔父	57-XXXX	〇〇クリニック	52-XXXX
亀岡 学	次郎友人	080-XXXX-XXXX	△△医院	57-XXXX